

資源マップも更新中です

帯広近郊就労系障がい福祉サービス
事業所への聞き取り調査をスタートしました！



令和3年4月7日(水)～15日(木)

就労継続支援 B 型 あしすと
(帯広市)

就労継続支援 A 型事業所
あさひ☆みらい
(帯広市)

就労継続支援 B 型 あしすと (B 型)

事業所開設から約 1 年が経過する就労支援事業所あしとへ訪問しました。事業所の母体となる帯広ライフケアサービスではデイサービスや訪問介護等の介護サービス事業を主に行っていますが、介護保険サービスだけではなく障がい福祉サービスもあると良いのではと考えられたきっかけから、B 型の事業を始められたようです。

現在は、Word・Excel を使った PC 作業、羊毛フェルトを作る手芸作業が活動内容としてあるようですが、今後はより一層個別のニーズに合わせた体制を整えていきたいという展望や、他の事業所も交えてスタッフ同士が交流し合える場が作れると良い等のお話も伺いました。



管理者の西川さん
にご対応頂きました。

就労継続支援 A 型事業所 あさひ☆みらい (A 型)

昨年 8 月にグループホーム、12 月に A 型を立ち上げました。それぞれの事業は、業務提携先である朝日みらい株式会社に数名の障がい者雇用をされていた経過から始まります。市内に障がいをお持ちの方のグループホームや、一般就労を目指すための段階的な場となる A 型の数が多くない現状を知り、そういった場を作りたいと思われたそうです。

現在 30 代から 50 代の方が通所されており、3 カ所の拠点で、事務作業や清掃、配食の盛り付けや配達、手芸等の活動が行われているようです。また今後に向けて、事業所の活動が「一般就労を目指す方の背中を後押しする場になれば」とのお気持ちも聞かせて頂きました。



社長の橋田さん
(右から 2 人目) に
ご応いただきました。

昨年 5 月より始まった 地域の関係機関の皆様への訪問が終了しました！！

第 1 弾の町村の関係機関訪問に引き続き、第 2 弾では主に市内近郊の就労系福祉サービス事業所（移行・A 型・B 型）・地域活動支援センターを対象に実施してまいりましたが、約 100 機関以上の皆様の元へ同わせていただくことが出来ました。

この活動は、昨年度の当センターの年間目標であった『再構築』のテーマの基、改めて関係機関の皆様と繋がりを持ち、地域で求められているニーズを知るために始めたものでした。昨年度は特に新型コロナウイルスの感染拡大予防がされていた中でしたが、今回直接顔を合わせて皆様のご意見を伺うことができ、大変有意義で貴重な機会となりました。また福祉サービス事業所の皆様には、『資源マップ』の更新・ご協力もいただくことも出来ましたが、改めてこの場をお借りし、快くご対応いただいた全ての関係機関の皆様へ感謝申し上げます。

まだまだ予断を許さない日々が続いておりますが、頂いたご意見を基に地域ニーズや課題等をまとめ、今年度の活動に活かしていきたいと思っております。詳細については改めてだいち通信にてご報告いたしますが、新年度は「地域作り」をテーマに掲げ活動してまいります。引き続き、今年度もよろしくお願いいたします。